



VLBIプログラム小委員会報告

今井 裕

鹿児島大学学術研究院理工学域理学系

天の川銀河研究理工センター

VLBIプログラム小委員会構成員

2016年9月～2018年8月 敬称略

- 台外委員

- 今井 裕 (鹿児島大学、委員長)
- 新沼 浩太郎 (山口大学)
- 関戸 衛 (通信情報研究機構)

- 台内委員

- 郷田 直輝
- 立松 健一
- 柴田 克典

- VERA共同利用観測
(+NICT鹿島34m鏡+野辺山45m鏡)
プロポーザルの採択
- VERA共同利用観測遂行に関する
議論・提言

2017A 公募結果

7件 (海外3件) 184時間 応募
4件 (海外1件) 122時間 採択

(敬称略)

課題番号	観測代表者	課題名	備考
VERA 17A-122	Oyadomari, Miyako	Correlation of SiO $v=2$ and $v=3$ $J=1 \rightarrow 0$ maser spot distribution with the stellar light curve Part II	野辺山45m鏡含む Q-band
VERA 17A-123	Tanaka, Yasuyuki T.	VERA ToO follow-up for IceCube neutrino event	Target of opportunity K-band
VERA 17A-126	杉山孝一郎	周期的な強度変動を示すCH ₃ OH メーザー天体G 035.79-00.17 及び G 036.70+00.09 の年周視差計測	Astrometry (1 year) 要経過報告 K-band
VERA 17A-127	Luca Moscadelli	The first ever detected accretion burst in a high-mass YSO: H ₂ O maser variability	K-band

2017B 公募結果

2件 42時間 応募
2件 42時間 採択

(敬称略)

課題番号	観測代表者	課題名	備考
VERA 17B-128	Oyadomari, Miyako	Correlation of SiO $v=2$ and $v=3$ $J=1 \rightarrow 0$ maser spot distribution with the stellar light curve Part III	野辺山45m鏡含む Q-band
VERA 17B-129	Shinnaga, Hiroko	Emission mechanism of SiO $v = 0$ low J transitions in the circumstellar envelope of VY Canis Majoris	野辺山45m鏡含む Q-band

継続観測の可否の審議

課題番号	観測代表者	課題名	備考
VERA 17A-124	杉山孝一郎	周期的な強度変動を示す CH ₃ OHメーザ一天体 G 035.79-09.17及び G 036.70+00.09の年周視差計測	年周視差計測が可能な 天体のみ計測継続 (観測時間変更なし)

2018A 公募狀況

???件 ???時間 応募

- KaVA / VERA 共同利用観測時間枠 700 時間 / 年
 - KaVA ~500時間程度
 - NRO 45m鏡: 最大100時間 / 年
-

プログラム小委員会からの提言 1/2

- 2017A審議後
 - Target of opportunity (ToO)の扱い
 - 事前に計画があるもの → 共同利用観測枠で事前提案を
 - 予測不能な突発現象 → 所長時間枠、要事後報告
 - 通年観測の取り扱い
 - 原則2期にわたり半々で時間割当
 - 年周視差計測以外の課題でも受け付けた方が良い (2017B後審議)
 - 通年観測の必要性をプロポーザルに明記すること
 - プロポーザル審査(評点基準)のガイドライン作成
 - 校正天体のFRINGE情報の提供が必要(相関局)

プログラム小委員会からの提言 2/2

- 2017B審議後
 - 評価項目毎の評点＋総合評点の導入へ
 - 参考： 科研費評点方式
 - KaVA共同利用観測への参加(NICT, NRO)
 - NICT: 技術的課題さえクリアすれば参加可能
 - (NRO: 電波専門委員会審議事項)

プログラム小委員会委員長からのコメント 1/2

- 学部生※・大学院生からの観測提案を歓迎します。
 - 日本語プロポーザルを受け付けています
 - (創造的職種に向けた)就職活動の練習も兼ねて
 - 成果を出す責任が伴います(査読論文レベルの修論)
- 観測装置(の特長)について熟知して下さい。
 - Why VERA? Why KaVA? Why VLBA? Why EVN?

※学部学生に観測提案をする資格がない場合が多いが、VERA共同利用観測では受け付けます。

プログラム小委員会委員長からのコメント 2/2

- 審査：優れた目利きになることを願います。
 - 必ず優劣をつける厳しい判断が必要です
 - 自分の好みで評価しない、他分野の取り込みも重要
 - プロポーザルに描かれた学術的背景を読み解く、期待される成果の明解さがポイント
 - 自分が書くプロポーザルがどの様に評価されるのか想像が働く様になる